

令和元年度 船形コロニー(各部署一覧) 福祉サービス評価(自己評価)是正・改善結果

項目	自己評価			改善・是正計画	いつまでに	改善結果
	総合評価	改善項目	課題			
1 理念・基本方針 (1)	A-1 B- C- 項目数 1項目					
2 経営状況の把握 (2~3)	A-2 B- C- 項目数 2項目					
3 事業計画の策定 (4~7)	A-2 B-2 C- 項目数 4項目	設問4. 5 設問4. 5. 7	【地域移行推進部:B】 地域福祉推進計画を中長期計画とする意見も組織内にあるが、明確にされていない。 【とがくら園:B】 法人の中長期計画が地域福祉総合計画に取り込まれた現状となっており、具体的なビジョンは明確になっておらず、単年度ごとの計画策定となっている。	【地域移行推進部】 地域福祉推進ワーキングに於いて検討する。 【とがくら園】 地域福祉推進計画の策定ワーキンググループ部会へ答申する。	11月	【地域移行推進部】 未実施 【とがくら園】 未実施
4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組 (8~9)	A-2 B- C- 項目数 2項目					
5 施設長の責任とリーダーシップ (10~13)	A-4 B- C- 項目数 4項目					
6 福祉人材の確保・育成 (14~20)	A-6 B-1 C- 項目数 7項目	設問14~18 設問14 設問14. 15 17 設問14 設問14	【地域移行推進部:B】 法人として人材育成方針は定まっていますが、具体的なキャリアパス等の仕組みは整備されていない。人材確保・育成・定着が課題と思われる。また、職員が将来像を描ける仕組みまでは至らず、最近の新任職員以外の職員は一人ひとりの目標設定までは至っていない。 各種規則、規程、要綱により配慮されているが、運用が不十分。具体的には、安全衛生委員会が環境の整備や産業医の巡回相談について周知し、改善事項については、計画的に進めているが、職員個々の相談は稀な状況である。 法人研修課で職責毎の研修計画を策定・実施しているが、定期的な評価・見直しまでは至っていない。 【おおくら園:B】 適切な人員配置ができておらず、職員募集はしてはいるものの人材確保ができていない。 【なでくらセンター:B】 計画に基づいて人材の確保・育成・配置が行われているが、専門職の配置や補充が不十分である。 【かまくら園:B】 法人として、人材育成方針は定まっているが、キャリアパスの仕組みまでには至っていない。また、新人職員の離職率が高いことを含む様々な問題に対して議論が不足している。 【事務管理センター】 適切な人員配置ができていない。	【地域移行推進部】 法人の人材育成制度検討委員会に於いて検討する。 【おおくら園】 人材確保を所に要望していく。 【なでくらセンター】 法人本部と事業所が連携してより適正な形に改善していく。 【かまくら園】 人材の確保・育成については、研修前に採用の段階から改善する等、法人と事業所が連携して取り組んでいく。 【事務管理センター】 人員配置を法人本部に要望していく。	11月	【地域移行推進部】 未実施 【おおくら園】 10月より職員が配置され、人材確保に至っている。 【なでくらセンター】 人員配置に不足が発生した際には、直ちに事業所へ要望していく。 【かまくら園】 10月より職員が配置され、人材確保に至っている。今後も法人との連携を継続していく。 【事務管理センター】 今後も人員配置を要望していく。
7 運営の透明性の確保 (21~22)	A-2 B- C- 項目数 2項目					
8 地域との交流、地域貢献 (23~27)	A-5 B- C- 項目数 5項目	設問26 設問26.27	【地域移行推進部:B】 支援を必要とする地域住民のためのサークル活動や地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動、地域の活性化やまちづくりまでは至っていない。 【おおくら園:B】 地域のニーズに応じた多様な支援活動や地域の活性化の貢献には至っていない。	【地域移行推進部】 地域の関係諸団体と連携を模索する。 【おおくら園】 地域移行推進部と連携し、福祉ニーズの把握に努める。	11月	【地域移行推進部】 これまでの諸団体との連携を深めながら行っていく。 【おおくら園】 県社協として、丸森町や大郷町への職員派遣にすみやかに対応している。
9 利用者本位の福祉サービス (28~39)	A-12 B- C- 項目数 12項目					
10 福祉サービスの質の確保 (40~45)	A-6 B- C- 項目数 6項目					
11 利用者の尊重と権利擁護 (46~47)	A-2 B- C- 項目数 2項目					
12 生活支援 (48~60)	A-11 B-2 C- 項目数 13項目	設問51. 59 設問48. 59 設問51	【おおくら園:B】 個々の状況に応じた活動内容(プログラム)を工夫していますが多様化までには至っていない。 【とがくら園:B】 個別支援計画に基づき、その人らしく生活出来るよう支援していますが、十分な支援には至っていない。 【かまくら園:B】 日中活動のメニューが不十分	【おおくら園】 日中活動の選択肢を増やし内容を説明した上で個々の希望を確認する。 【とがくら園】 個別支援計画の中により具体的な支援内容を反映し、取り組みを行う。 【かまくら園】 自閉症を有する方たちへの活動メニューの一つとして自立課題の提供を実施(試行)する	11月	【おおくら園】 日中活動メニューを選択できるような内容を説明し、個人ごとの聞き取りで希望を確認しており、支援メニューの多様化を図った。 【とがくら園】 個別支援計画の中に具体的な支援内容を明記し、家族の承諾の下、支援を行っている。 【かまくら園】 次年度に向けて準備中
13 発達支援 (61)	非該当 項目数 1項目					
14 就労支援 (62~64)	A-3 B- C- 項目数 3項目	設問62 設問62 設問62	【おおくら園:C】 就労支援の取り組みとして、利用者3名をなでくらセンター(日中活動専門支援部署)へ参加させているが、利用者個人の課題が多く、ステップアップに至らない。 【とがくら園:B】 対象となる利用者の方がいるものの、本人や家族は入所施設内での軽作業の希望と将来的な意向により、就労支援までは至っていない。 【かまくら園:C】 重度・最重度の知的障がいを持つ利用者のため、就労支援の取り組みは行っていないが、日中活動の工夫は必要。	【おおくら園】 作業メニューや作業環境及び利用者の年齢、体力、意欲等から総合的に判断し、就労支援の適、不適について再考する。 【とがくら園】 対象利用者本人及び家族へ、就労支援に向けた長期支援の希望や意向を聴き、トータル支援から就労支援の可否を判断する。 【かまくら園】 利用者個々の能力に応じた活動メニューの模索	11月	【おおくら園】 検討中。 【とがくら園】 検討中。 【かまくら園】 次年度に向けて調整中。